

〈訂正〉

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

演題：神経幹細胞の運命制御

講師： 後藤 由季子 先生

東京大学大学院薬学系研究科・薬学部 分子生物学教室 教授

日時：平成27年7月21日(火) 17時～19時

場所：MDタワー2階共用講義室1

講義趣旨

我々の脳は、多くの種類の細胞が正確に配置されて機能している。正しい脳構築のメカニズムを理解するためには、中枢神経系の細胞を産み出す元の細胞「神経幹細胞」が、発生期にいかに関与しているかを知ることが重要な鍵となる。

一方、脳構築が終了した成体の脳においても、少なくとも2カ所に神経幹細胞は存在し、生涯にわたってニューロンを作り続けている事がわかってきた。この成体におけるニューロン新生は学習・記憶などに貢献し、その減少と精神疾患との関連も示唆されてきている。従って成体における神経幹細胞がどのようなメカニズムで長期間維持され、新生するニューロンの量が制御されているかは興味深い。

本大学院講義では、神経幹細胞の運命制御について当研究室の最近の知見を紹介し、発生期と成体期におけるふたつの異なる幹細胞戦略について議論したい。

連絡先 病態代謝解析学分野 畑 裕 (内線 5164)